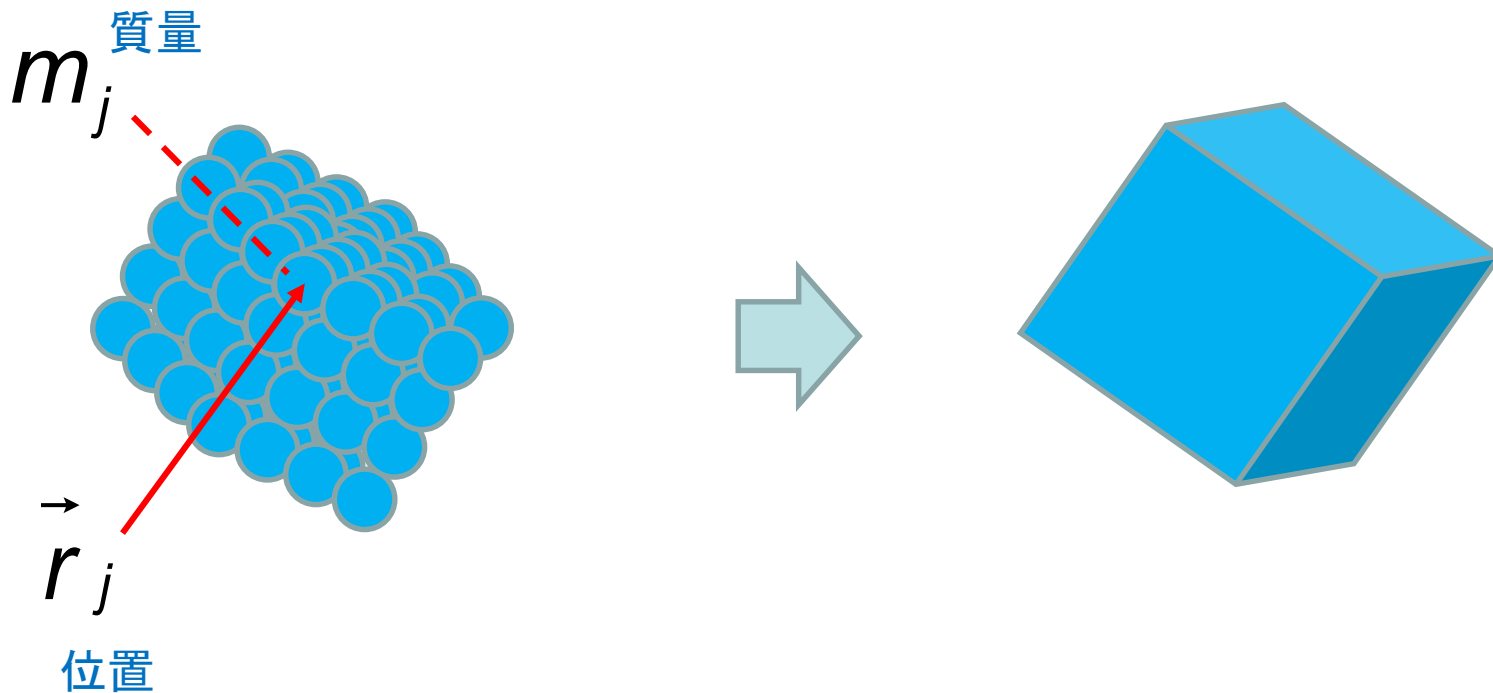


# 物理学C

剛体に働く重力  
剛体の重心  
重心と積分の考え方

# 剛体

多数の微小な質点の集まり (相互の位置関係は不変)



# 剛体の運動方程式

前回の結果(質点系から導いた)

剛体の並進運動

剛体の回転運動

運動量

$$\frac{d\vec{P}}{dt} = \vec{F}$$

力

$$\sum \vec{f}_j$$

角運動量

$$\frac{d\vec{L}}{dt} = \vec{N}$$

力のモーメント

$$\sum \vec{r}_j \times \vec{f}_j$$

$\vec{f}_j$  は質点jに働く外力

$$\frac{d\vec{P}}{dt} = \vec{F} \quad \Rightarrow \quad M \frac{d^2 \vec{R}}{dt^2} = \vec{F}$$

質量M, 座標Rの  
「質点」の運動方程式

運動量は個々の質点  
の運動量の和

$$\begin{aligned} \vec{P} &= \sum m_j \vec{v}_j \\ &= \sum m_j \frac{d\vec{r}_j}{dt} \end{aligned}$$

R : 重心の座標

$$\vec{R} = \frac{\sum m_j \vec{r}_j}{\sum m_j}$$

全質量  $M = \sum m_j$

剛体の並進運動

質量M座標Rの重心が外力Fによって運動していると見なしてよい

# 重心

重心座標

$$\vec{R} = \frac{m_1 \vec{r}_1 + m_2 \vec{r}_2 + \dots}{m_1 + m_2 + \dots} = \frac{\sum m_j \vec{r}_j}{\sum m_j}$$

全質量

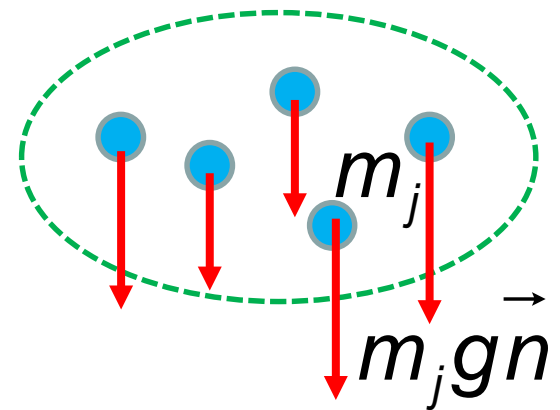
$$M = m_1 + m_2 + \dots + m_n = \sum m_j$$

# 剛体に働く重力



向きも含めた重力のベクトル  $\vec{F} = mg\vec{n}$

$\vec{n}$  重力の向き(鉛直下向き)で  
長さが1のベクトル



重力は剛体の各部分に働いている  
→ どう扱うか？

# 剛体に働く重力

## 運動方程式の右辺を計算

$$\begin{aligned}\sum \vec{f}_j &= \sum m_j g \vec{n} \\ &= \left( \sum m_j \right) g \vec{n} \\ &= Mg \vec{n}\end{aligned}\quad \begin{aligned}\sum \vec{r}_j \times \vec{f}_j &= \sum \vec{r}_j \times (m_j g \vec{n}) \\ &= \left( \sum m_j \vec{r}_j \right) \times (g \vec{n}) \\ &= M \frac{\sum m_j \vec{r}_j}{M} \times (g \vec{n}) \\ &= \vec{R} \times (Mg \vec{n})\end{aligned}$$

大きさ  $Mg$  の重力が重心に働くと考えてよい

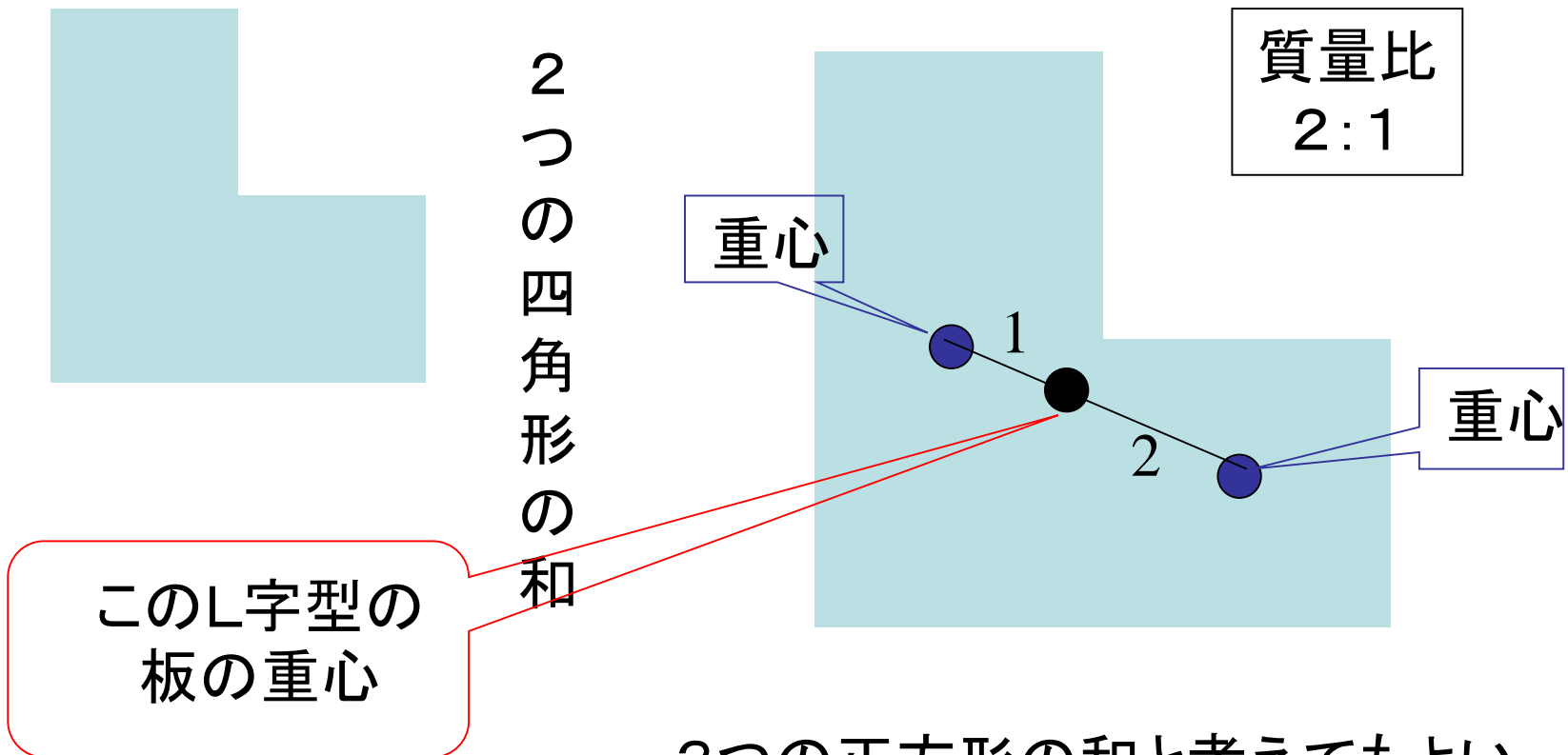
# 剛体の重心(1)

- 剛体の重心の位置
- 一様な密度で対称性のある物体  
⇒ 幾何学的な「中心」が重心となる  
(例) 直方体, 円板, 球, . . .



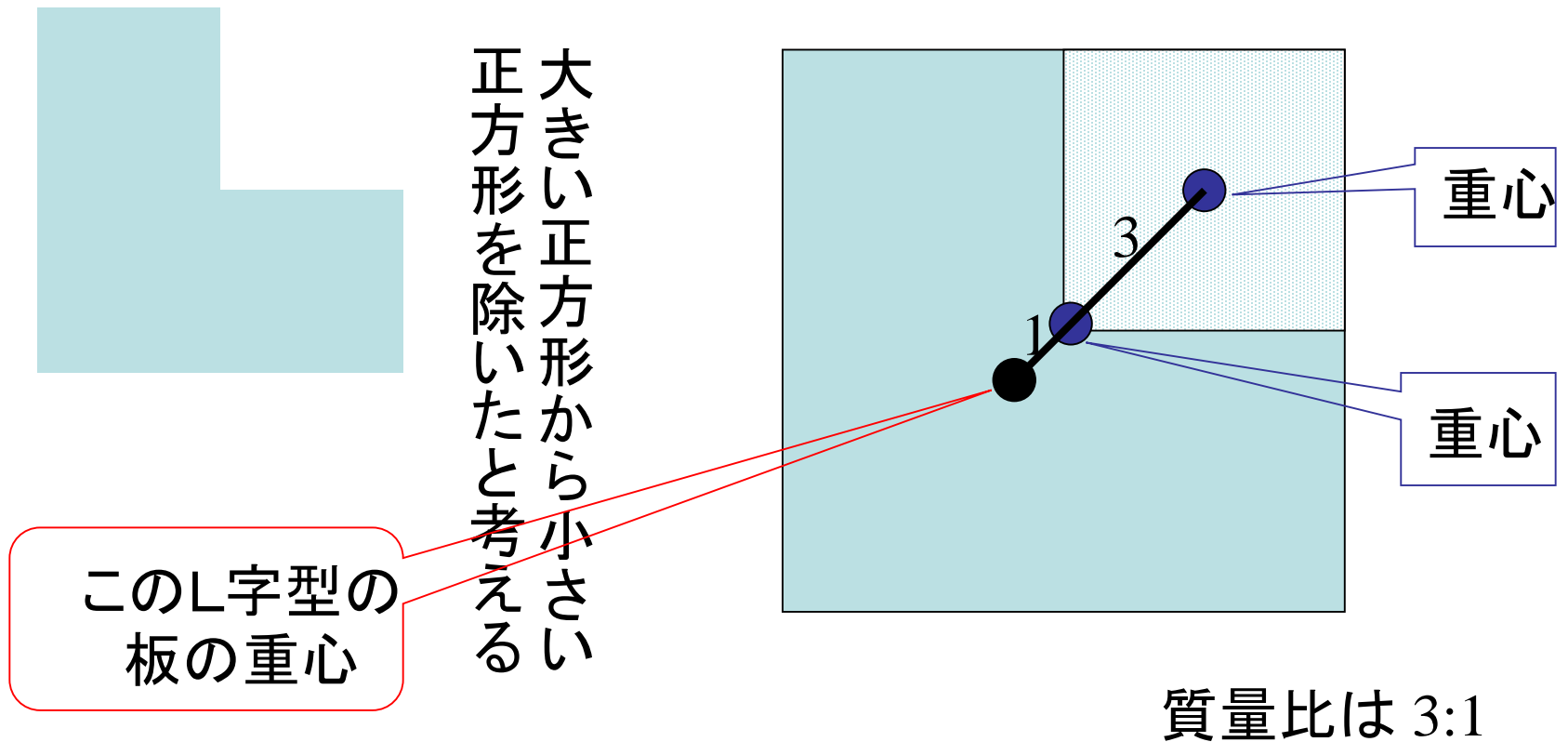


# 剛体の重心(2A)



3つの正方形の和と考えてもよい

# 剛体の重心(2B)



# 剛体の重心(3)

積分により求める

# 積分の極意

- 複雑な対象の分析の基本
  - ・・・細かく分解したものを合計する
- 「合計する」
  - 1つずつ加える・・・原始的手作業
  - 積分する・・・近代的工業生産

全部合計する

$$S = \sum_j f_j \Delta x$$

細かく分割した極限



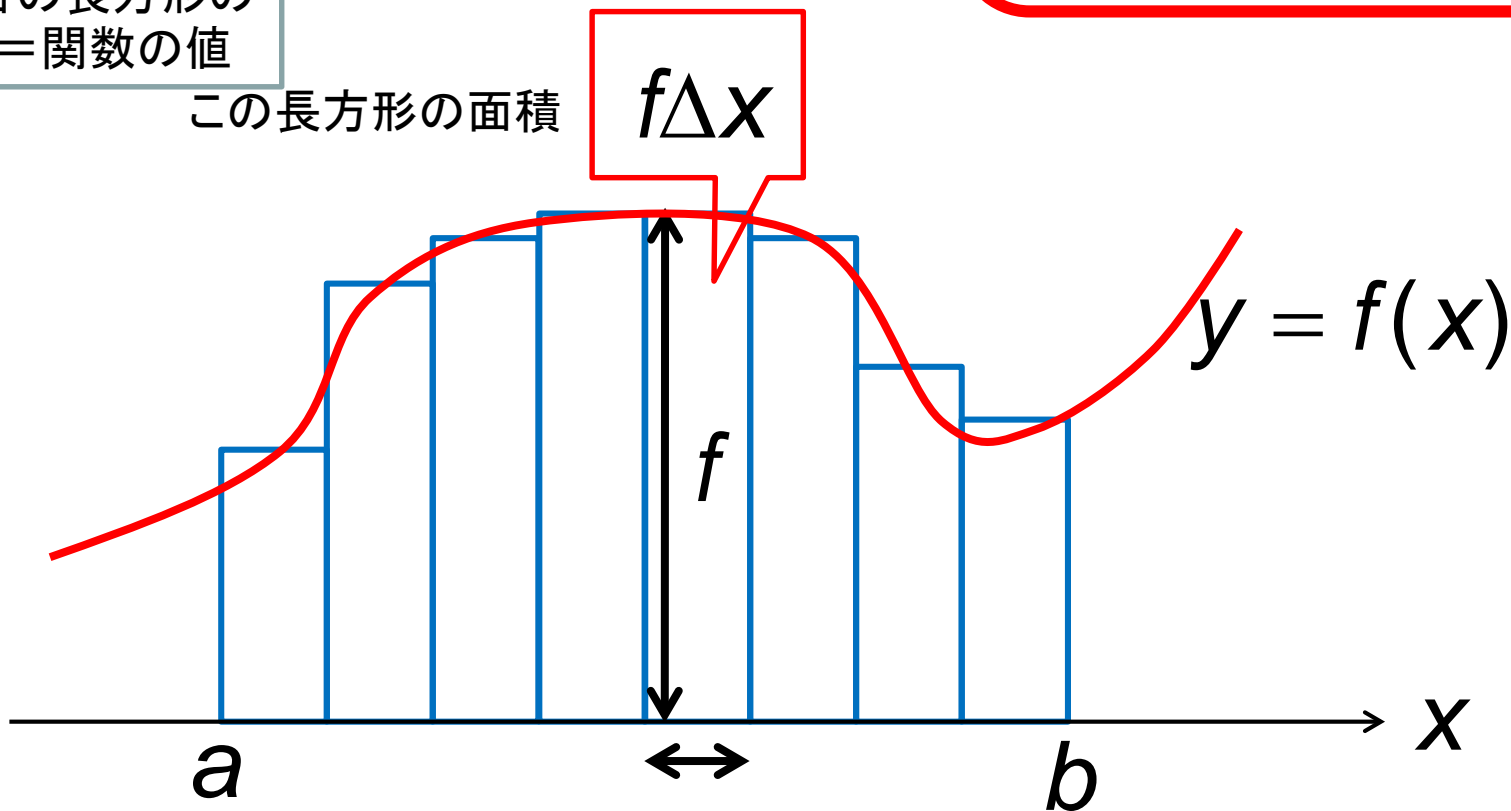
定積分

$$S = \int_a^b f(x) dx$$

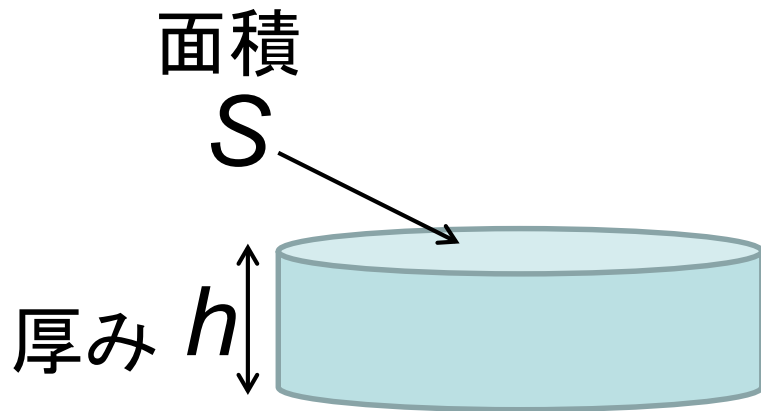
j番目の長方形の  
高さ=関数の値

この長方形の面積

$$f \Delta x$$

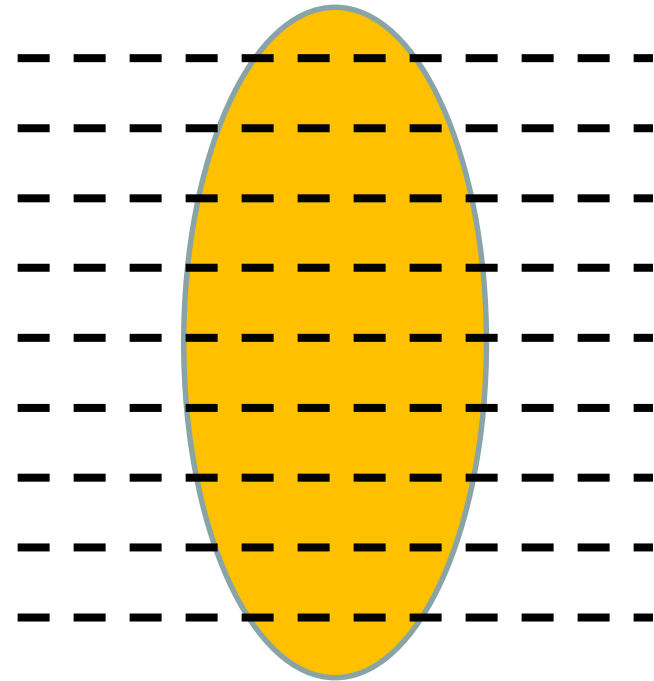


# 体積の計算



板の体積

$$V = Sh$$

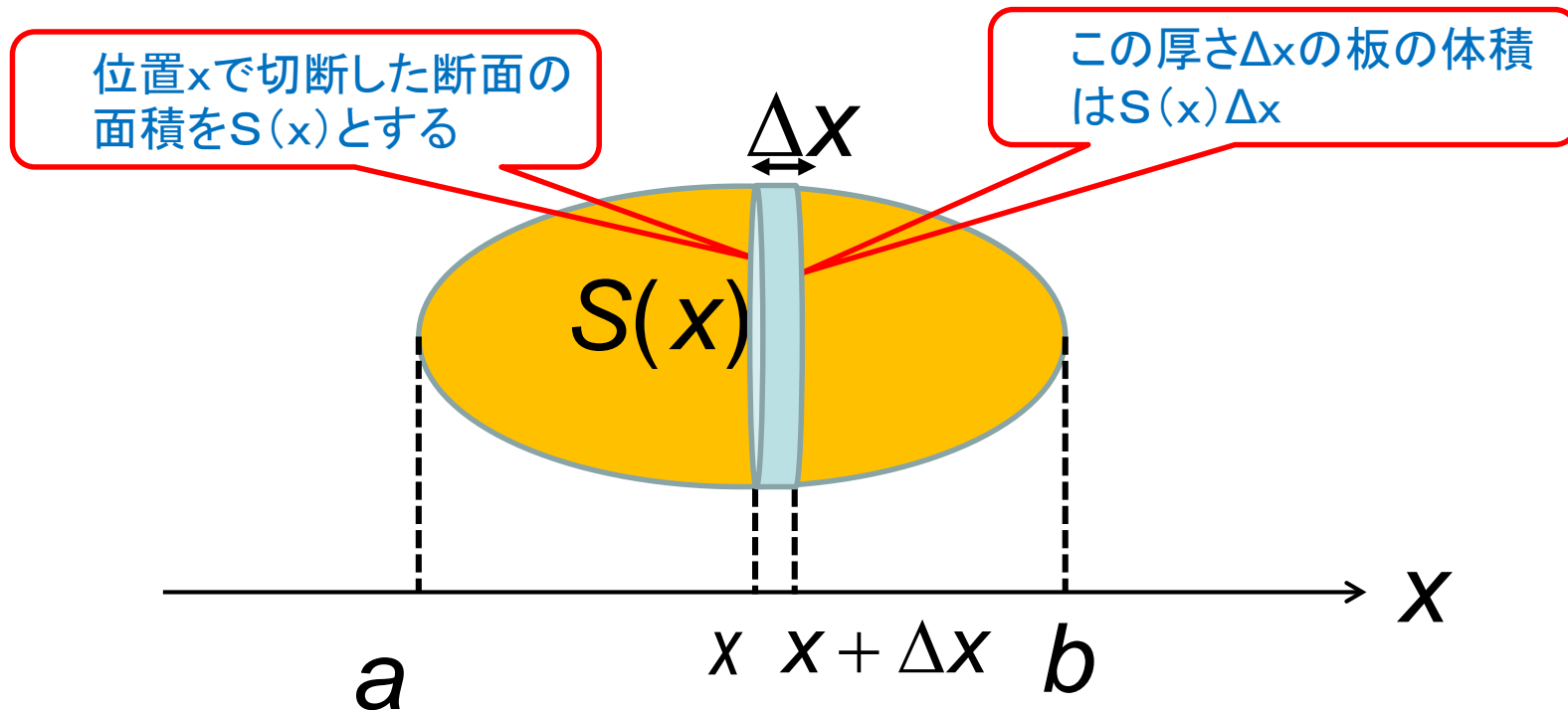


1つ1つを板として体積を計算  
⇒ 全部を合計する

「板」の体積を全部足すと全体の体積

体積の計算

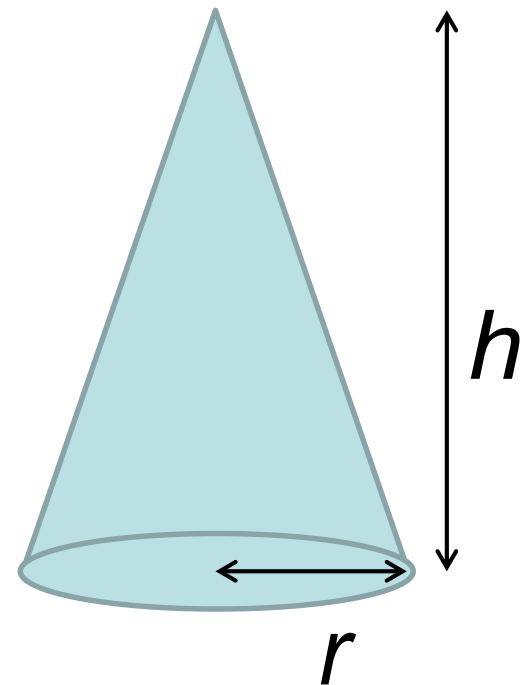
$$V = \sum S(x)\Delta x \longrightarrow V = \int_a^b S(x)dx$$



# 例題(1)

半径 $r$ , 高さ $h$ の一様な円錐  
の体積が次の式であることを  
示せ

$$V = \frac{1}{3} \pi r^2 h$$



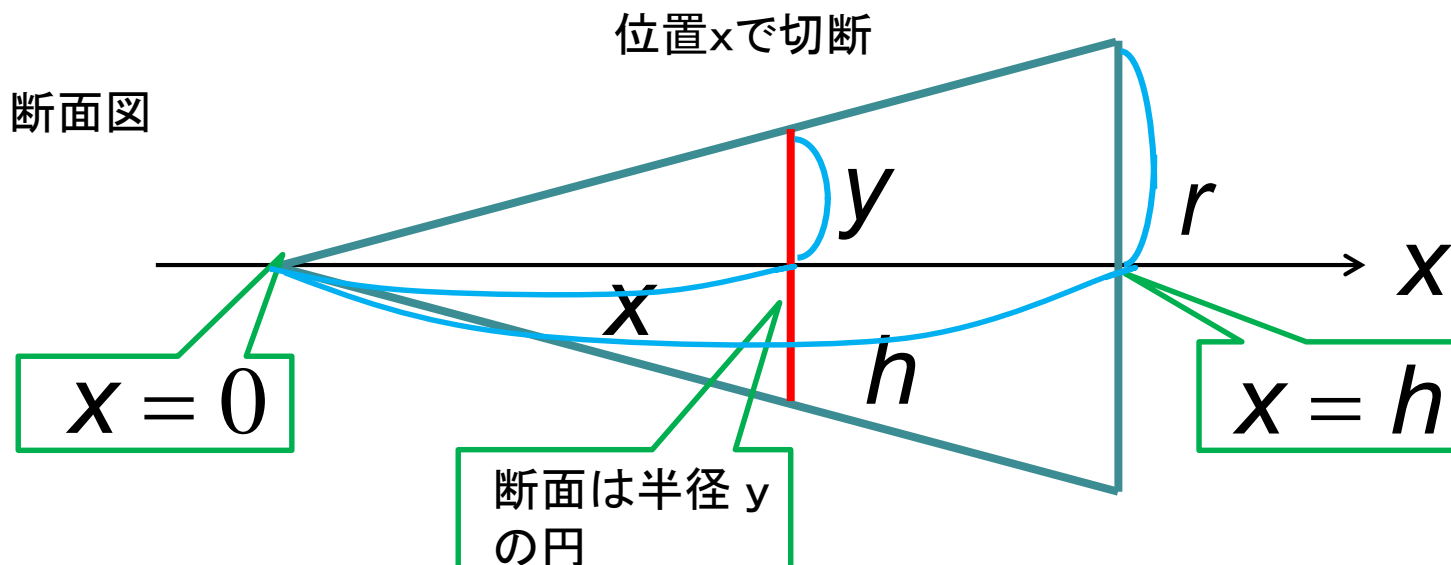


半径  $y$  を求める。

$$y:r = x:h \Rightarrow y = \frac{rx}{h} \Rightarrow S(x) = \pi y^2 = \frac{\pi r^2 x^2}{h^2}$$

体積

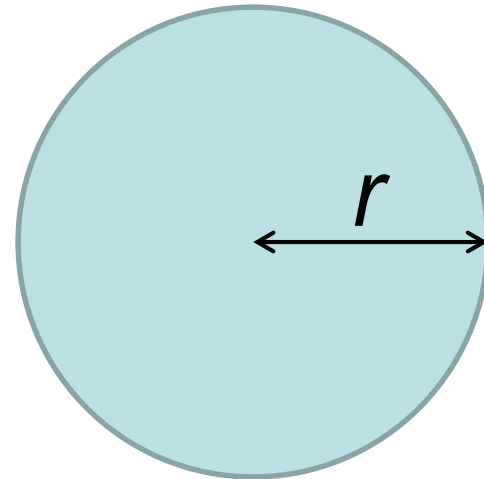
$$V = \int_0^h S(x) dx = \frac{\pi r^2}{h^2} \left[ \frac{1}{3} x^3 \right]_0^h = \frac{1}{3} \pi r^2 h$$



# 課題

半径 $r$ の一様な球の体積が  
次の式であることを示せ

$$V = \frac{4}{3} \pi r^3$$



# 課題

半径  $r$  の球

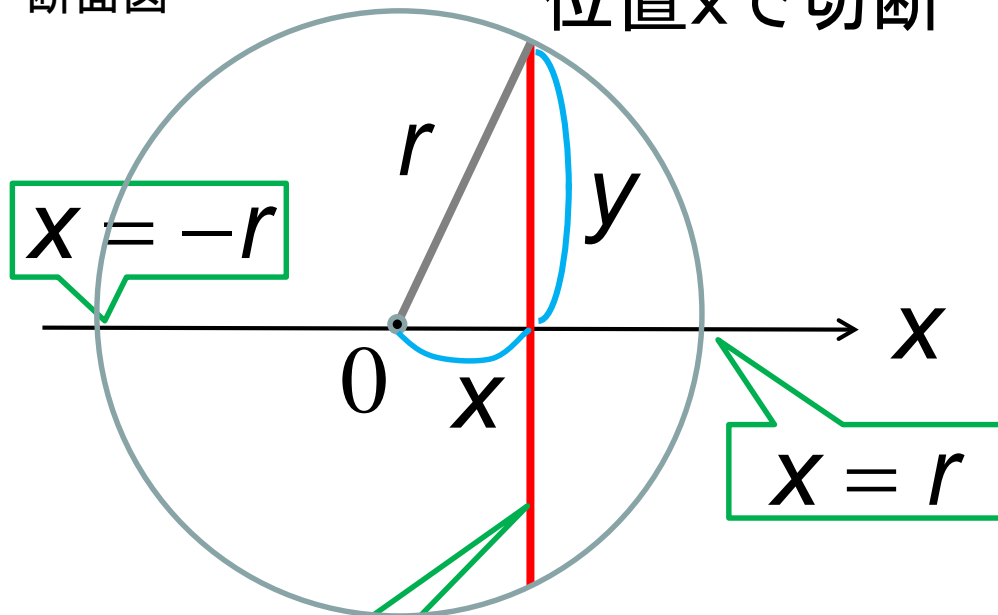
$$y = \sqrt{r^2 - x^2}$$

$$S(x) = \pi y^2$$

断面図

位置  $x$  で切断

$$= \pi(r^2 - x^2)$$



$$V = \int_{-r}^r S(x) dx$$

$$= \pi \left[ r^2 x - \frac{1}{3} x^3 \right]_{-r}^r$$

$$= \frac{4}{3} \pi r^3$$

断面は半径  $y$  の円

工学院大学の学生のみ利用可:印刷不可:再配布不可 (C)加藤潔 2018

# 重心

質点系の  
重心座標

$$\vec{R} = \frac{\sum_j m_j \vec{r}_j}{\sum_j m_j} = \frac{\sum_j m_j \vec{r}_j}{M}$$

$\vec{r}_j$  j 番目の質点の座標

$m_j$  j 番目の質点の質量

$M$  全質量

剛体の重心も、剛体を  
(仮想的に)細かく分解  
すれば同じ式が使える

# 一様な密度の剛体の重心

$$\vec{R} = \frac{\sum_j m_j \vec{r}_j}{\sum_j m_j}$$

$\rho$  密度

$v_j$  j 番目の部分の体積

→  $m_j = \rho v_j$

← これを代入する



$$\vec{R} = \frac{\sum_j \vec{r}_j v_j}{\sum_j v_j} = \frac{\sum_j \vec{r}_j v_j}{V}$$

全体積

この和を薄い円板の分割和と考える

$$\vec{R} = \frac{\sum_j \vec{r}_j v_j}{V}$$

全体積

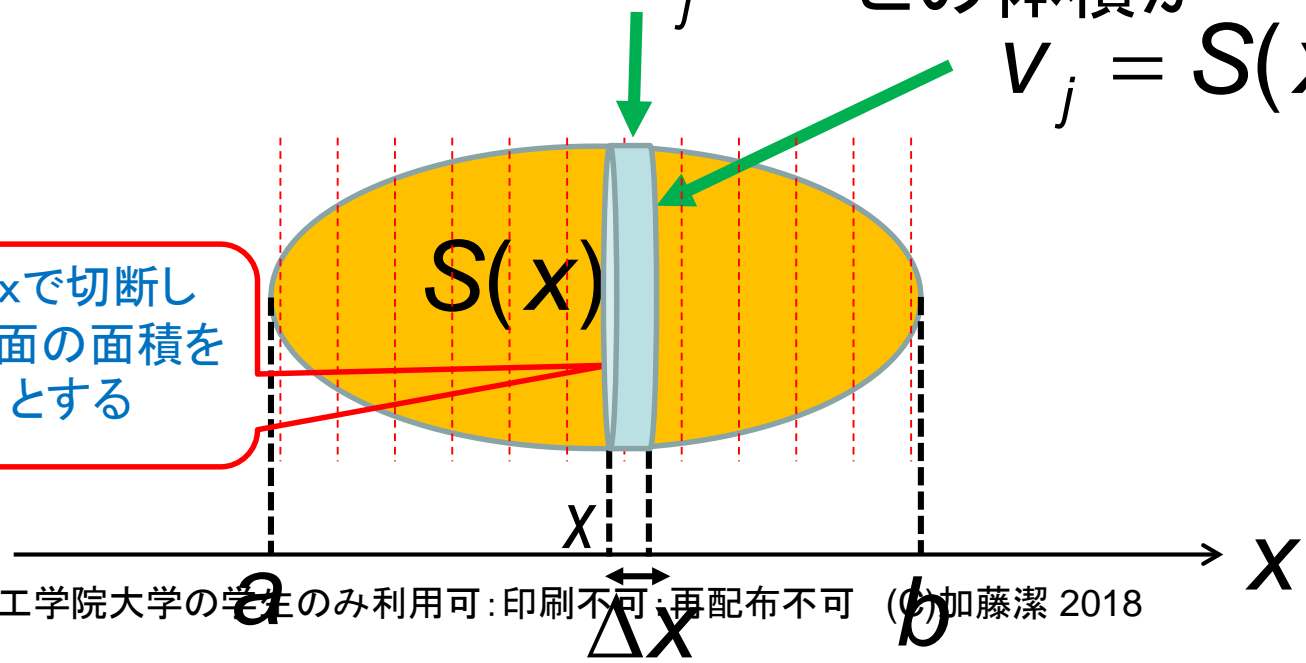
x成分を求める

$$R_x = \frac{\sum_j x_j v_j}{V}$$

この板では  
x座標は「一定」で  $x_j$

この体積が  
 $v_j = S(x)\Delta x$

位置xで切断した断面の面積を  $S(x)$  とする



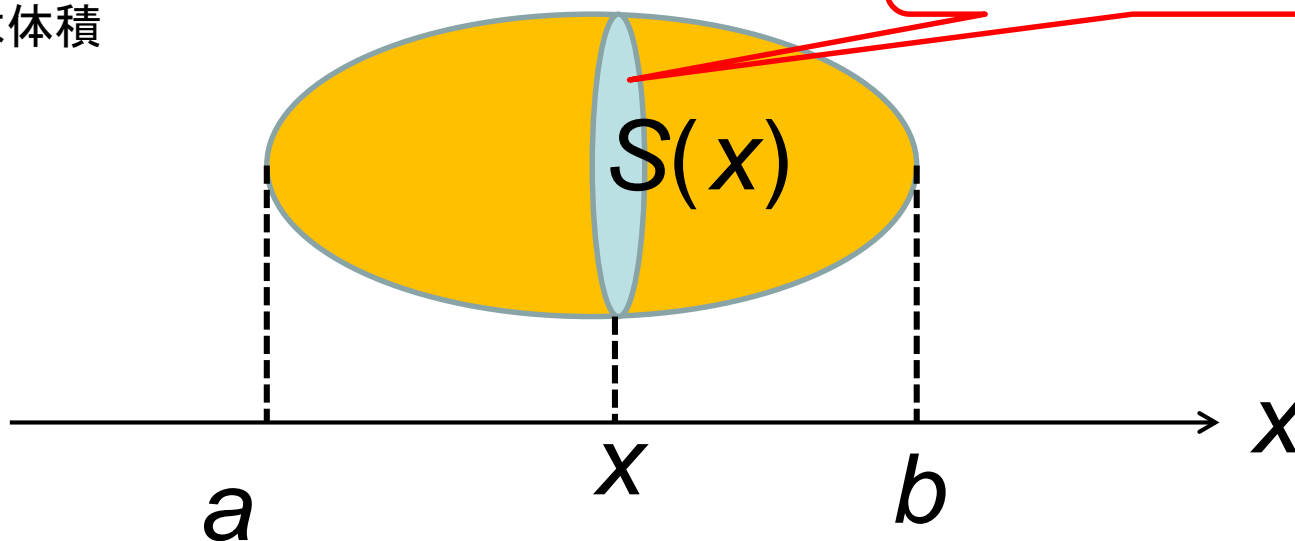
# 密度一定の物体の重心 のx座標の計算

$$R_x = \frac{\int_a^b xS(x)dx}{V}$$

同様にy座標, z座標  
も計算できる

位置xで切断した断面の  
面積をS(x)とする

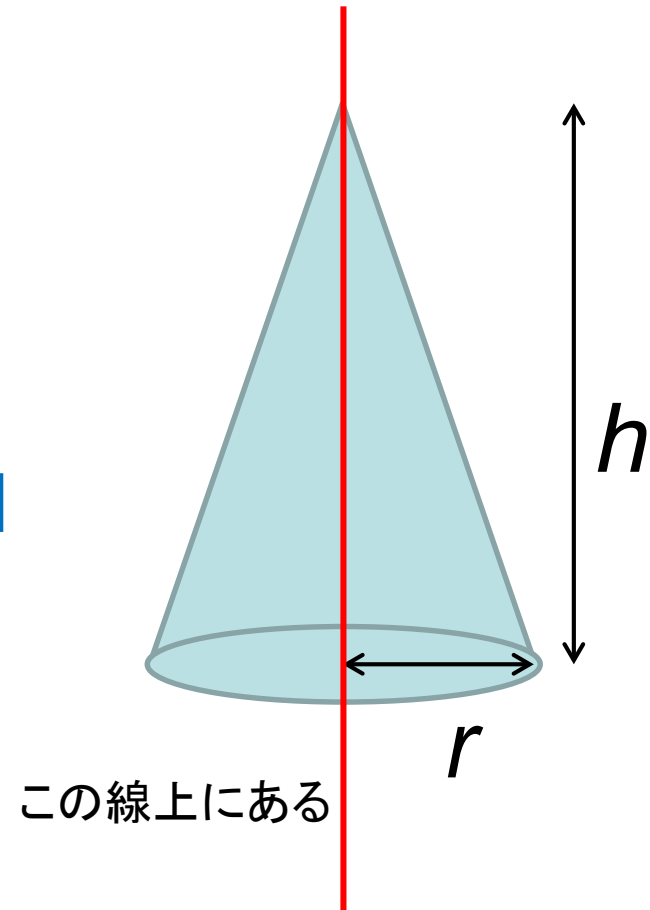
分母は体積  
である



## 例題(2)

半径 $r$ , 高さ $h$ の一様な円錐  
の重心の位置を求めよ

中心軸上にあることは明白  
なので, その位置を求める





例題1の計算を  
流用

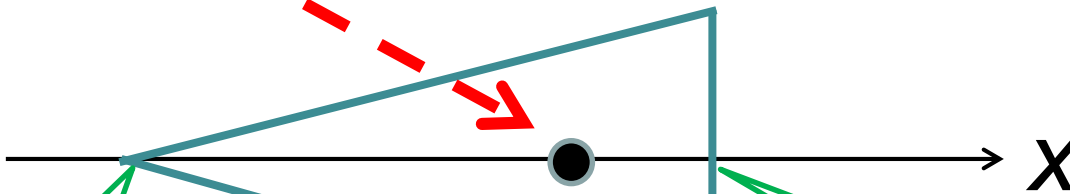
$$S(x) = \pi y^2 = \frac{\pi r^2 x^2}{h^2}$$

分子

$$\int_0^h xS(x)dx = \frac{\pi r^2}{h^2} \left[ \frac{1}{4} x^4 \right]_0^h = \frac{1}{4} \pi r^2 h^2$$

$$R_x = \frac{\int_0^h xS(x)dx}{V} = \frac{\frac{1}{4} \pi r^2 h^2}{\frac{1}{3} \pi r^2 h} = \frac{3}{4} h$$

断面図



$x$

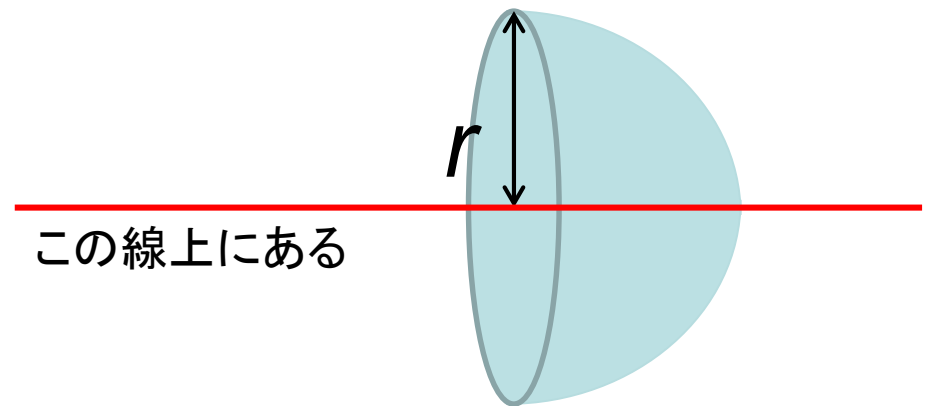
$x=0$

$x=h$

# 例題(3)

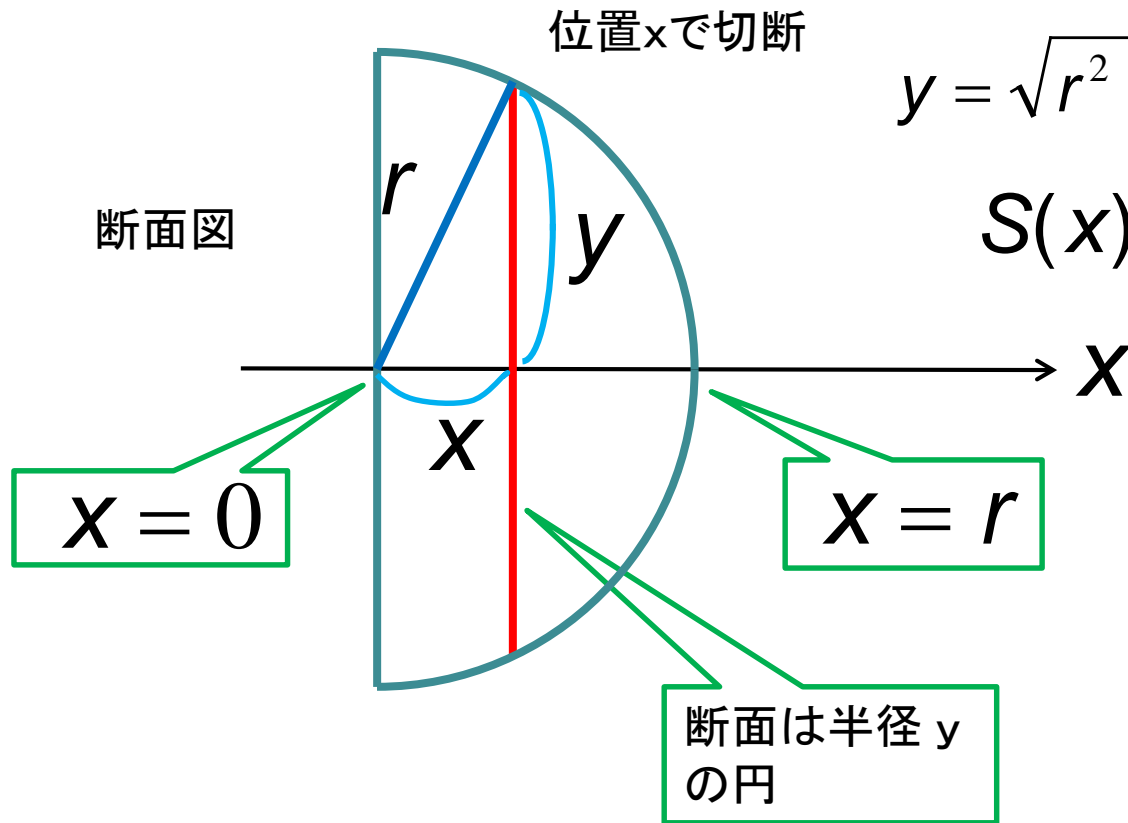
半径 $r$ の一様な半球の重心  
の位置を求めよ

中心軸上にあるこ  
とは明白なので、  
その位置を求める



# 半径 $r$ の半球

$$\text{体積 } V = \frac{2\pi}{3} r^3$$



$$y = \sqrt{r^2 - x^2}$$

$$S(x) = \pi y^2 = \pi(r^2 - x^2)$$

$$R_x = \frac{\int_0^r xS(x)dx}{V}$$

$$= \frac{\frac{1}{4} \pi r^4}{\frac{2\pi}{3} r^3} = \frac{3}{8} r$$